

伊豆半島の現状と課題

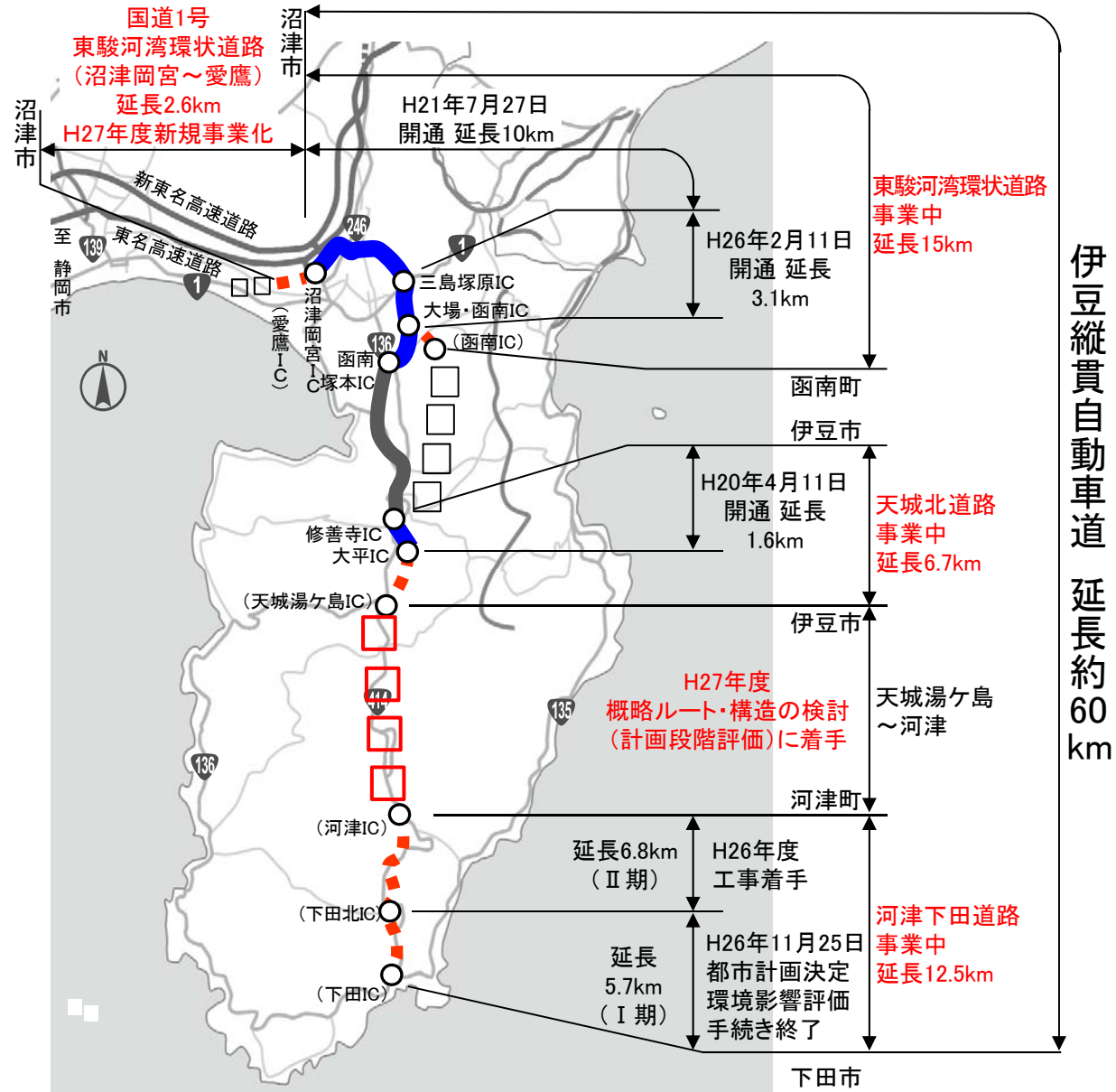
1. 全体概要

項目	分類	現状と課題	
1. 地域課題	(1)人口	<ul style="list-style-type: none"> 伊豆半島南部は全国や県平均を大きく上回る高齢者割合 平成52年に人口が1万人を割る消滅可能性都市が4町存在 	
	(2)産業	1)産業構造	伊豆半島は総生産額に占める第三次産業の割合が県平均よりも高い
		2)農林水産業	下田港で水揚げされた魚の輸送時間に課題
		3)観光	<ul style="list-style-type: none"> 伊豆半島南部の観光交流客数が減少傾向 8月や3月に来訪ピークを迎え、多くの観光客が自動車伊豆半島を訪れるため各所で渋滞が発生
	(3)生活	1)住宅	<ul style="list-style-type: none"> 伊豆半島南部の転出者は、転入者を上回り特にH23年以降で転出超過数が顕著 伊豆半島内の各市町における住宅着工件数は、県平均を上回る減少傾向で、特に伊豆半島南部で大きな減少
		2)医療	伊豆半島南部に第三次救急医療施設はなく、心疾患や脳血管疾患の死亡率は全国平均の約2倍
	(4)自然災害	1)降雨等	天城山および湯ヶ島の降水量が著しく多く、雨量による通行規制(実績)は、5年間平均で約400時間発生
2)地震等		南海トラフ巨大地震等における最大震度は6強、推定最大津波高さは5~33mの発生により、沿岸部の緊急輸送道路が寸断され、孤立する恐れ	
2. 交通課題	(1)公共交通	伊豆半島内の鉄道網や長距離バス網が限定的。観光の移動手段は自動車利用が約8割	
	(2)道路構造	1)未改良区間	幅員狭隘、平面および縦断線形不良等の未改良区間が伊豆半島内の各所に存在
		2)車道幅員等	<ul style="list-style-type: none"> 車道全幅5.5m未満の幅員狭小区間が点在 縦断勾配8%以上の道路線形不良区間が点在
	(3)道路交通状況	1)渋滞	伊豆地域は観光期の交通集中により、沼津・三島から下田間及び熱海から下田間の主要な路線において、著しい渋滞が発生
		2)事故	<ul style="list-style-type: none"> 県平均死傷事故率以上の区間が伊豆半島内の各所に存在 特に、正面衝突やすれ違い時が県平均を上回る事故発生
	(4)大規模災害	<ul style="list-style-type: none"> 大雨や崩土等による通行止めが、年平均で約110日発生 道路啓開作業路線に一部事業中の区間が存在 	
(5)自転車空間整備	安全で快適なサイクリング走行環境の整備が必要		



2. 伊豆縦貫自動車道整備状況

●伊豆縦貫自動車道(延長約60km)のうち、約15kmが開通済



- 未事業化区間
- 事業中区間
- 開通区間

注) () IC名称は仮称

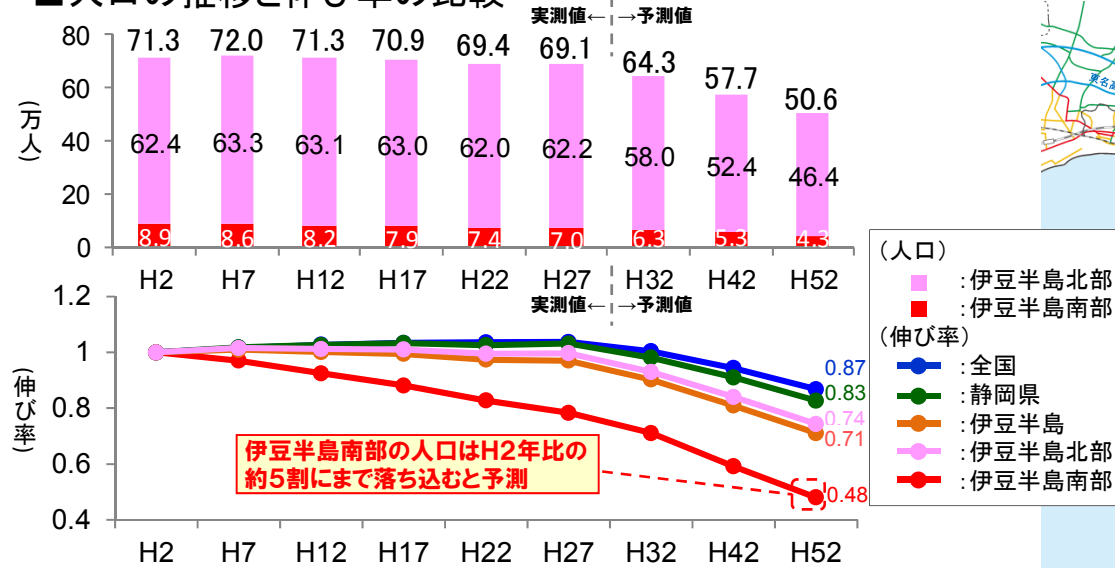
1. 地域課題

(1)人口

1. 地域課題

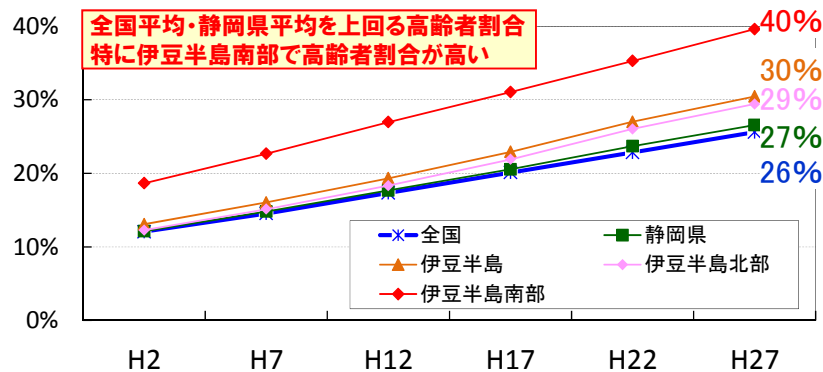
- 伊豆半島南部の人口の伸び率は全国および県平均と比べて大きな減少傾向、高齢者割合は全国および県平均より増加傾向
- 特に伊豆半島南部では、平成52年に人口が1万人を割る消滅可能性都市が4町存在

■人口の推移と伸び率の比較



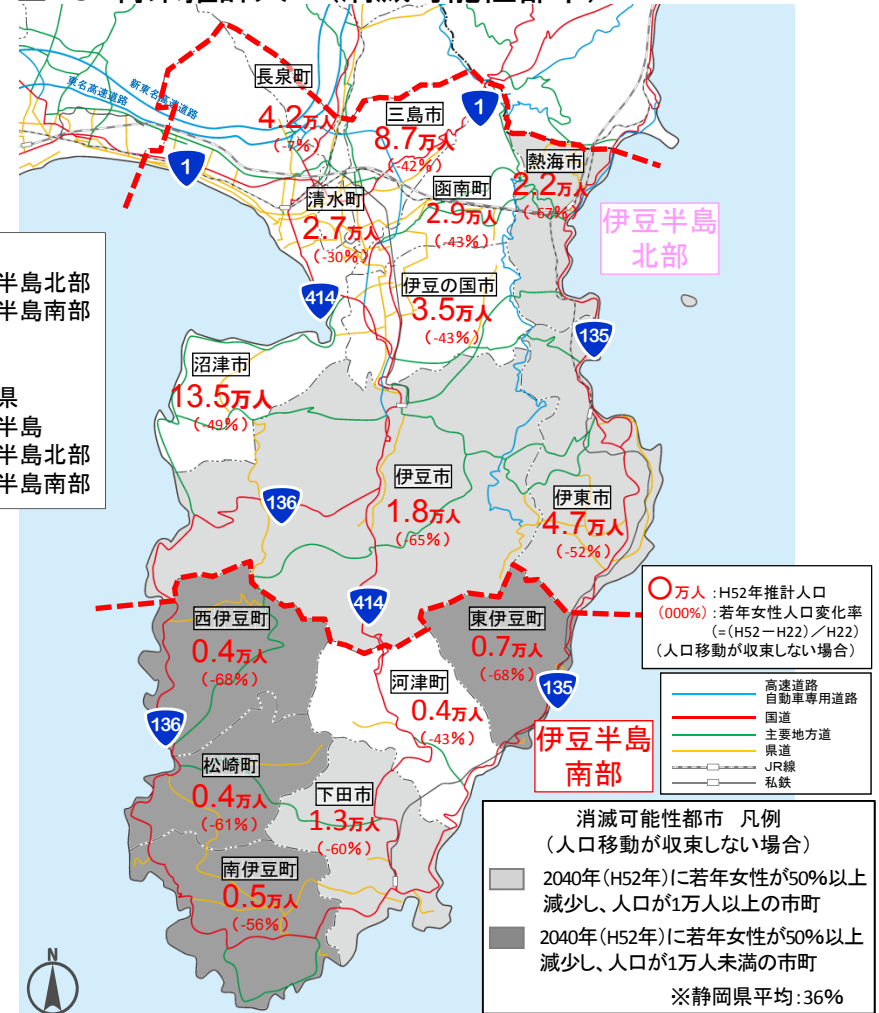
出典：H2～H22：国勢調査、H27：住民基本台帳<H2に対する比率 H2～H27：実測値、H32～H52：推計値
H32～H52「日本の地域別将来推計人口」(H25.3推計) (国立社会保障・人口問題研究所)

■高齢者割合の推移



出典：H2～H22：国勢調査、H27：住民基本台帳

■H52将来推計人口(消滅可能性都市)



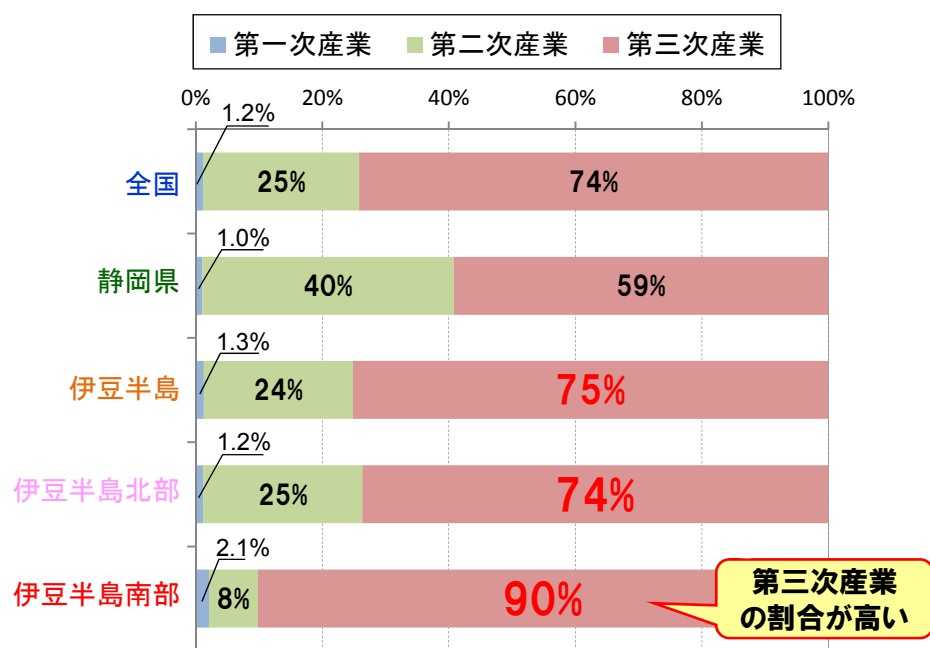
出典：日本創成会議・人口減少問題検討分科会「ストップ少子化・地方元氣戦略」(H26.5)
(市区町村別の将来推計人口)

(2)産業 1)産業構造

1. 地域課題

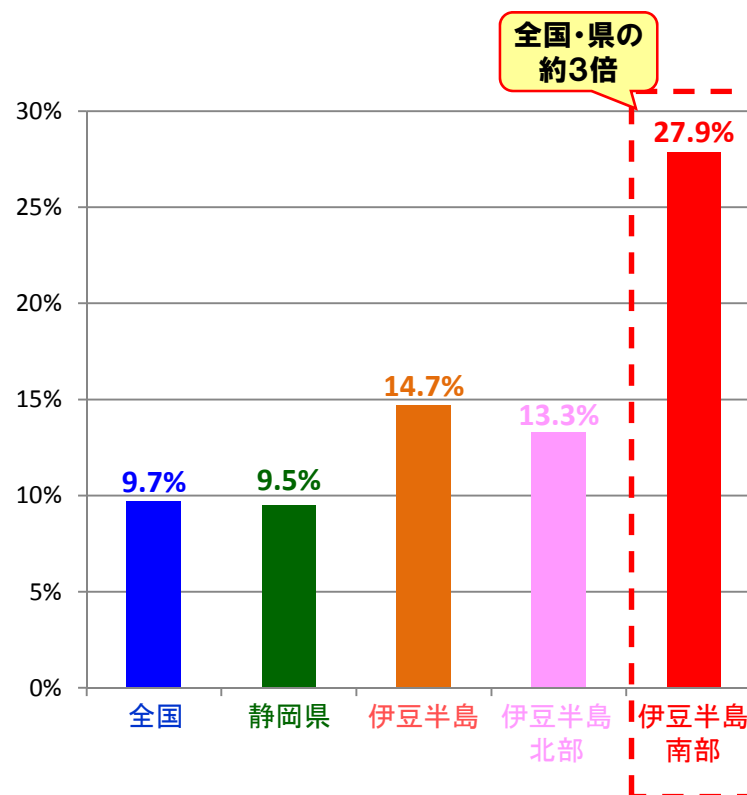
- 伊豆半島は、産業別総生産額に占める第三次産業の割合が県全体と比較して高く、特に伊豆半島南部の第三次産業の占める割合が高い
- 伊豆半島南部では、宿泊業・飲食サービス業の従事者割合が、全国、県全体と比べて3倍近くあり、宿泊業等を中心としたサービス業が主たる産業となっている

■産業別総生産額の割合



- ・第一次産業：農業、林業、漁業など
- ・第二次産業：輸送用機械器具製造業、総合工事業、食品製造業、繊維工業など
- ・第三次産業：飲食店、飲食料品小売業、医療業、社会保険・社会福祉・介護事業、職業紹介・派遣業、宿泊業、専門サービス業、情報サービス業、協同組合、繊維・衣服等卸売業など

■宿泊業・飲食サービス業に従事する人口比率



出典：H24経済センサス

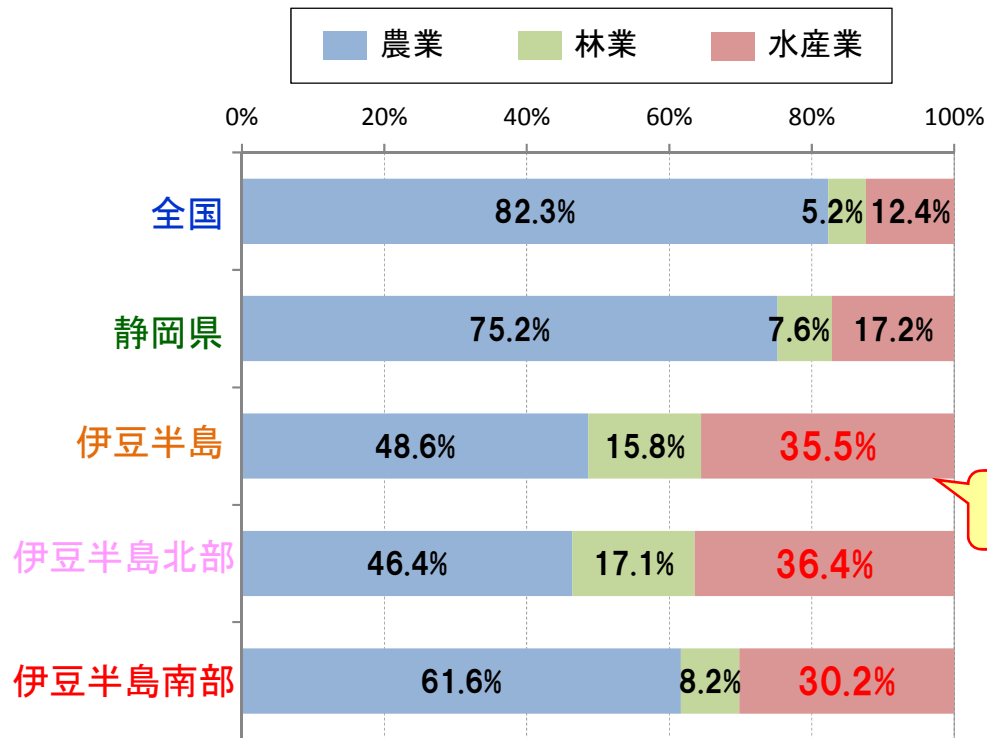
出典：H25しずおかけんの地域経済計算

(2)産業 2)農林水産業①

1. 地域課題

- 伊豆半島の農林水産業別総生産額の割合は、全国、静岡県と比較すると水産業の割合が高い
- 伊豆半島の農林水産業の総生産額を市町別にみると、伊豆半島北部の方が高い

■ 農業・林業・水産業別総生産額の割合



出典：(全国)県民経済計算
(静岡県、伊豆半島、伊豆半島北部、伊豆半島南部)平成25年度しずおかけんの地域経済計算

■ 伊豆半島の市町内総生産額(農林水産業)



水産業の割合が高い

出典：平成25年度しずおかけんの地域経済計算

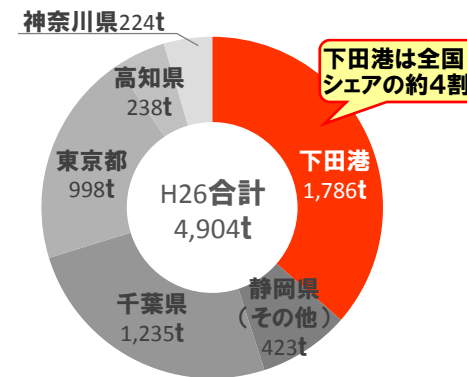
- 「金目鯛」の漁獲量は下田港が全国シェアの約4割を占め、そのうち約9割は築地等地域外に出荷
- 東京の築地市場への輸送は約5時間を要する
- 特に観光期では、渋滞により輸送が遅れると、金目鯛の鮮度は落ち、商品の価値は低下

■金目鯛の現状の輸送経路

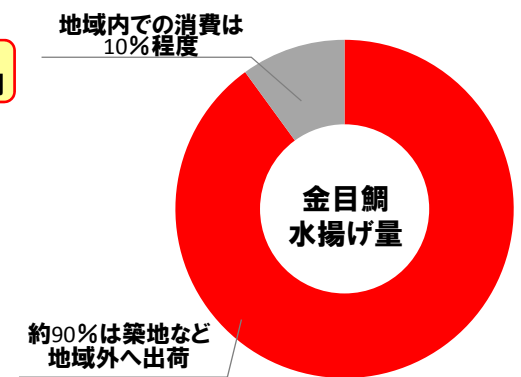


水揚げされた金目鯛は陸送で首都圏の市場へ

■金目鯛の主要都県の漁獲量 (H26) ■下田港で水揚げされた金目鯛の出荷先内訳



出典：静岡県水産技術研究所伊豆分場
伊豆漁業協同組合



出典：伊豆漁業協同組合ヒアリング (H26.12)

■地域の声

- ・下田では、年間約2千トンの金目鯛を水揚げしているが、うち約90%は首都圏をはじめとした大消費地市場（築地、横浜等）に出荷している。
- ・築地市場への出荷ルートは、現状ではR135（東海岸）～小田原厚木道路～東名高速というルートで、下田から5時間を要している。
- ・伊豆の金目鯛は、他の産地と比べて漁港と漁場が近いため、特に鮮度が良い。この特徴をより活かすためには輸送時間の短縮というのが欠かせない。



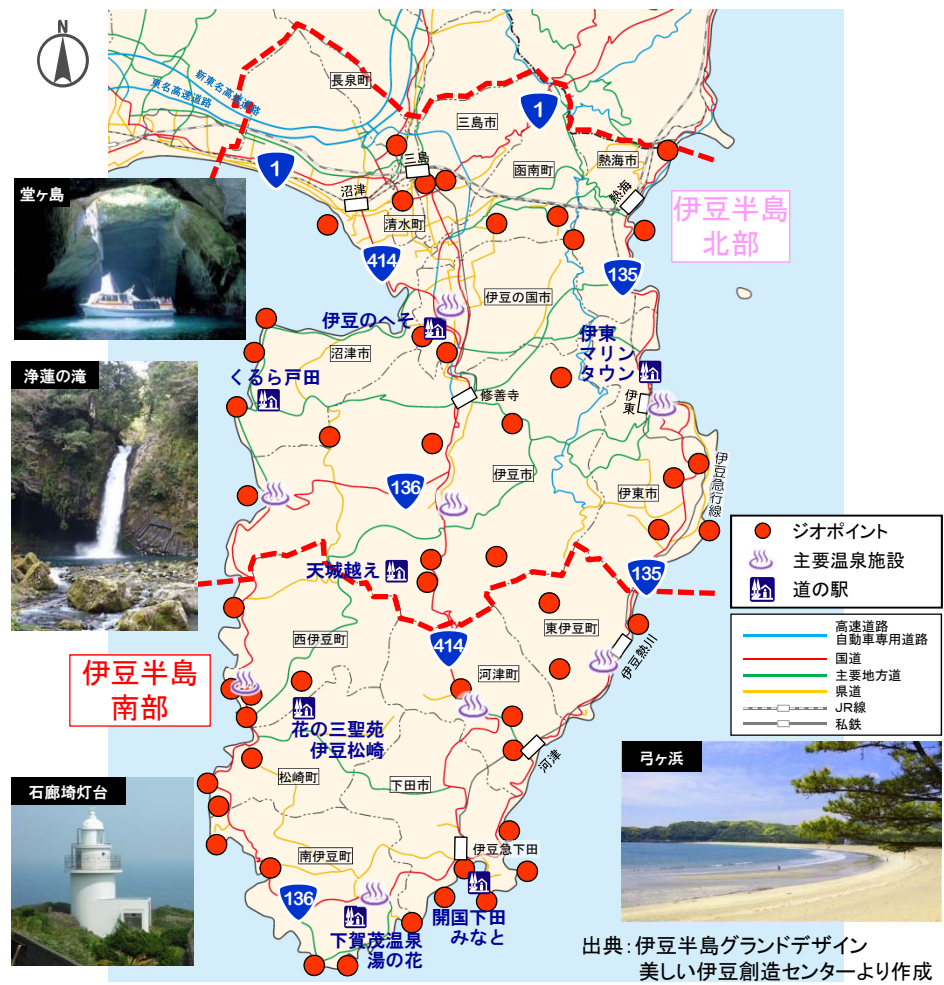
出典：伊豆漁業協同組合ヒアリング (H27.9)

(2)産業 3)観光①

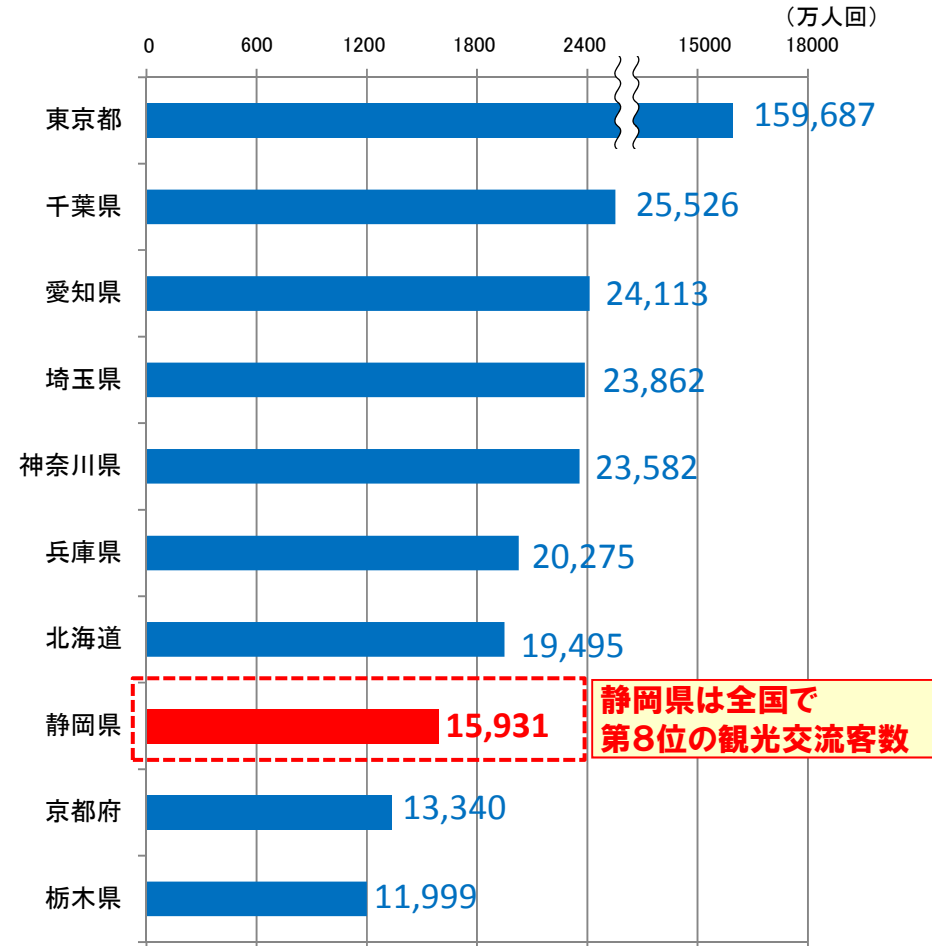
1. 地域課題

- 伊豆半島には観光施設や景勝地など、多くの観光資源が点在
- 静岡県では、全国で第8位の観光交流客数

■伊豆半島の主要な観光施設



■都道府県別観光交流客数(H25年度)



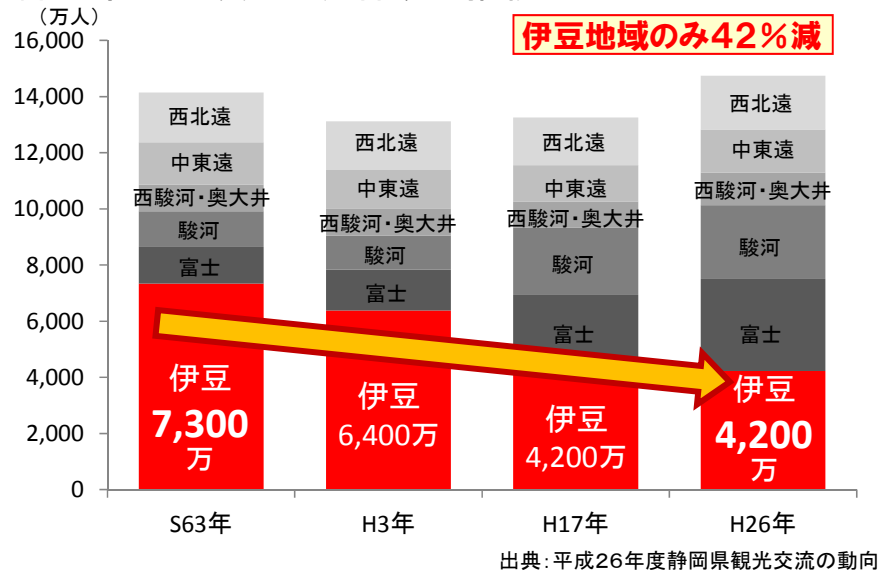
出典: 全国観光入込客統計に関する共通基準 集計表(観光庁)
※観光入込客数は日本人 観光目的、日本人 ビジネス目的、訪日外国人、観光地点・行祭事・イベント別観光入込客数を対象に集計

(2)産業 3)観光②

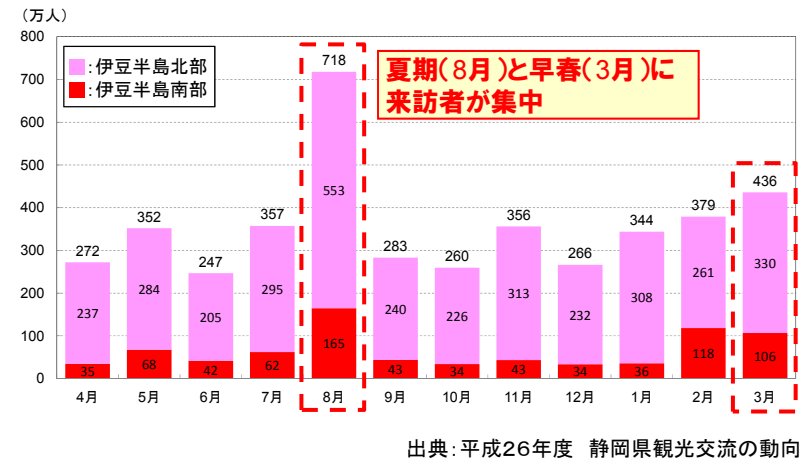
1. 地域課題

- 伊豆半島の観光交流客数は年間4,000万人を超えるが、伊豆半島南部では近年減少傾向
- 伊豆半島の月別観光交流客数をみると、8月や3月に来訪のピークを迎え、多くの観光客が自動車で伊豆半島を訪れるため各所で渋滞が発生

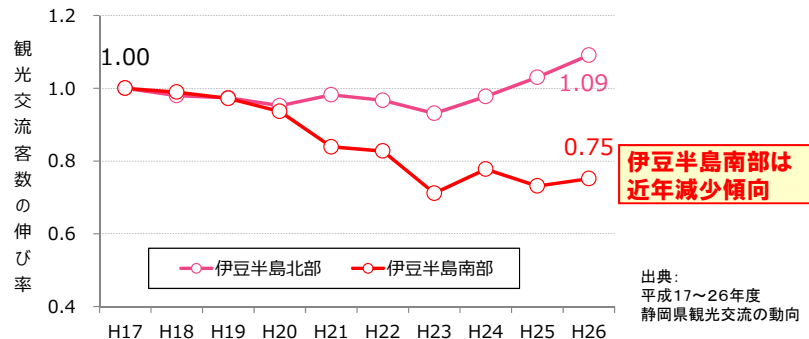
■静岡県内の観光交流客数の推移



■月別観光交流客数（H26）

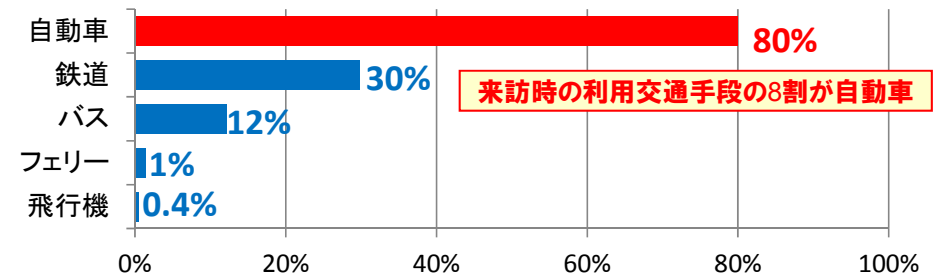


■観光交流客数の推移



■伊豆半島（長泉町・清水町を除く）への利用交通手段

（移動に利用した交通手段をすべて回答（複数回答可））

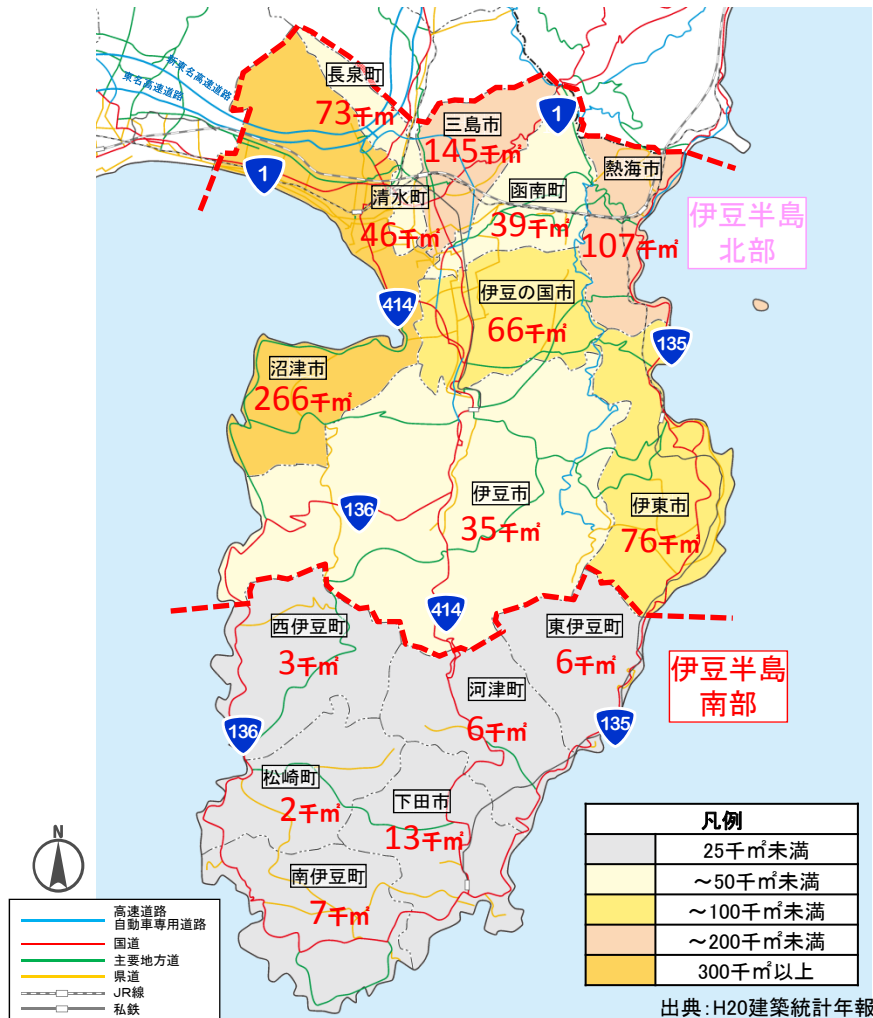


(3)生活 1)住宅

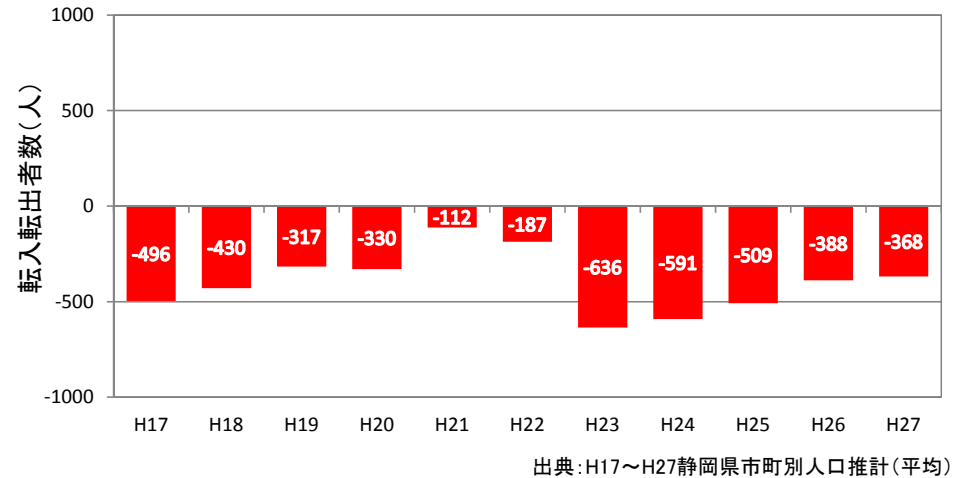
1. 地域課題

- 伊豆半島南部の転出者は、転入者を上回り特にH23年以降で転出超過数が顕著
- 伊豆半島内の各市町における住宅着工件数は、県平均を上回る減少傾向で、特に伊豆半島南部で大きな減少

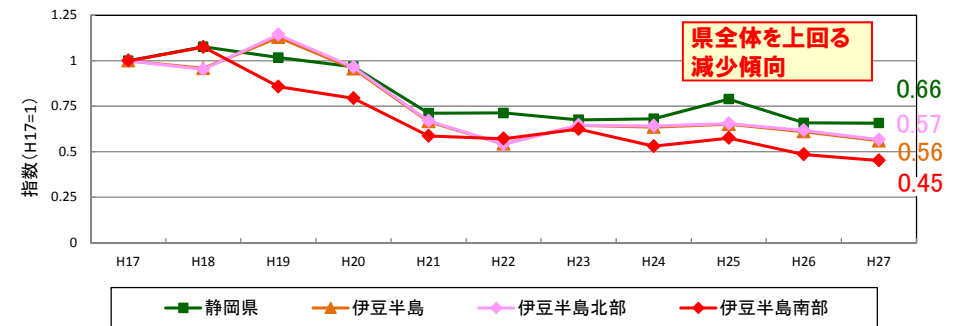
■伊豆半島の住宅着工床面積



■伊豆半島南部における転入・転出超過数

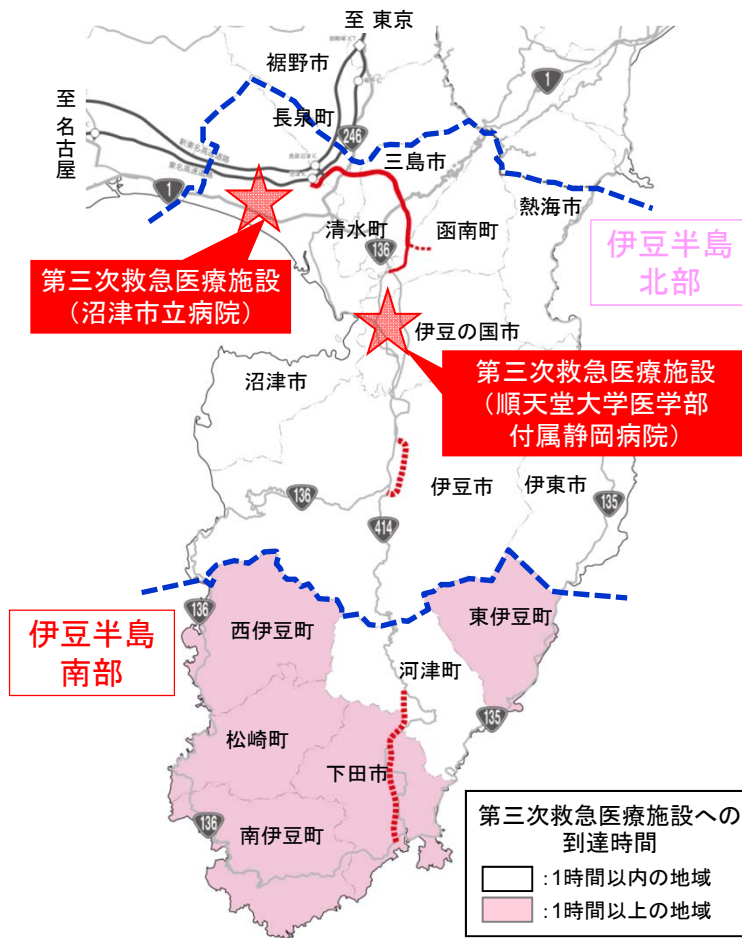


■住宅着工件数の推移

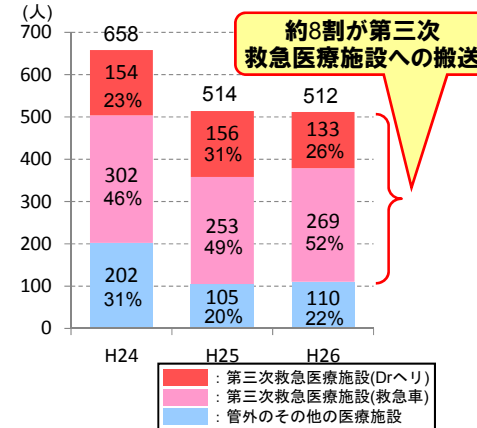


- 伊豆半島南部には第三次救急医療施設が無いいため、下田消防本部の管外搬送のうち約8割が伊豆半島北部の第三次救急医療施設への搬送
- 伊豆半島南部から伊豆半島北部の第三次救急医療施設への救急搬送には、60分以上の時間を要する
- 伊豆半島南部における心疾患や脳血管疾患の死亡率は全国平均の約2倍と高い

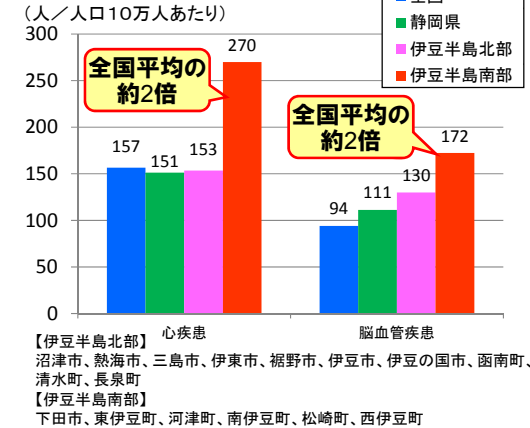
■伊豆半島地域の第三次救急医療施設



■下田消防本部の管外搬送先内訳



■心疾患と脳血管疾患での死亡率



■下田消防本部へのヒアリング結果 (H26.12.22)



国道414号を北進し第三次医療機関へ向かう救急車

- ・ドクターヘリがあれば、陸路での搬送は不要ではないかという意見もあるが、有視界飛行が前提となるため、**夜間だと要請しない**。また、**昼間でも悪天候や濃霧の場合、要請しても飛ばないことが多くあり、陸路の整備は必要不可欠**。
- ・天城峠区間は時間がかかることが課題。中には、**順天堂大学病院まであと少しのところを命を落とす方もおり、1分でも早く病院に到達することは極めて重要**。
- ・**カーブが多いため、揺れが大きくなり、重症者が多いこともあって患者への負担が大きい**。

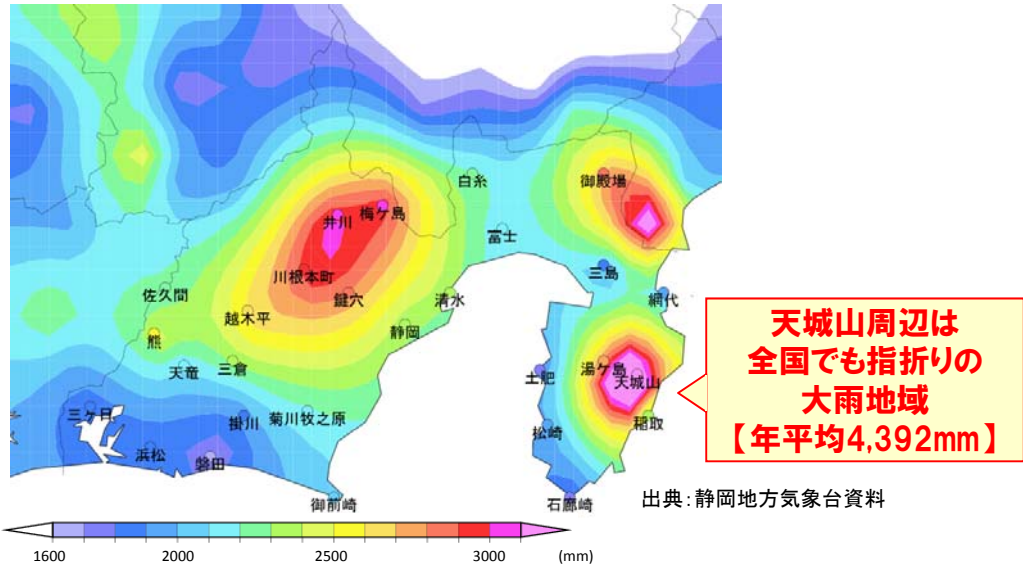


(4)自然災害 1)降雨、土砂災害

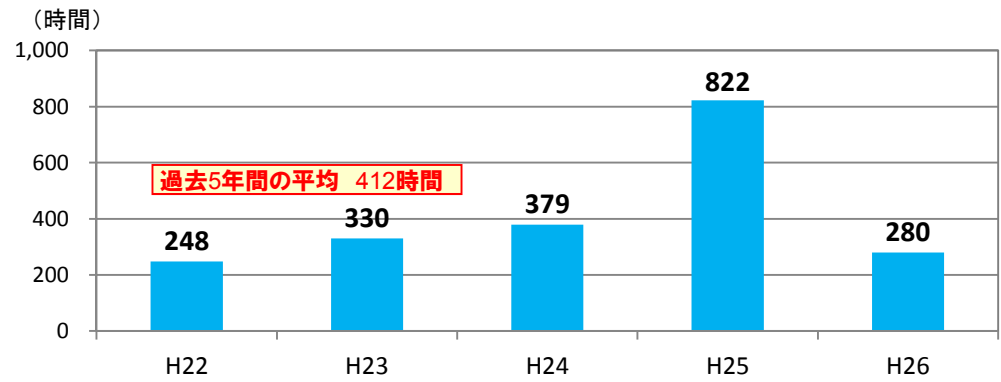
1. 地域課題

- 伊豆半島の年間降水量は、天城山および湯ヶ島が著しく多い
- 伊豆半島内には異常気象時事前通行規制区間(連続降雨、積雪)が多数存在
- 雨量による通行規制は、伊豆半島全体で年間平均400時間以上発生

■年降水量(平年値)分布図(S56~H22の平均値)

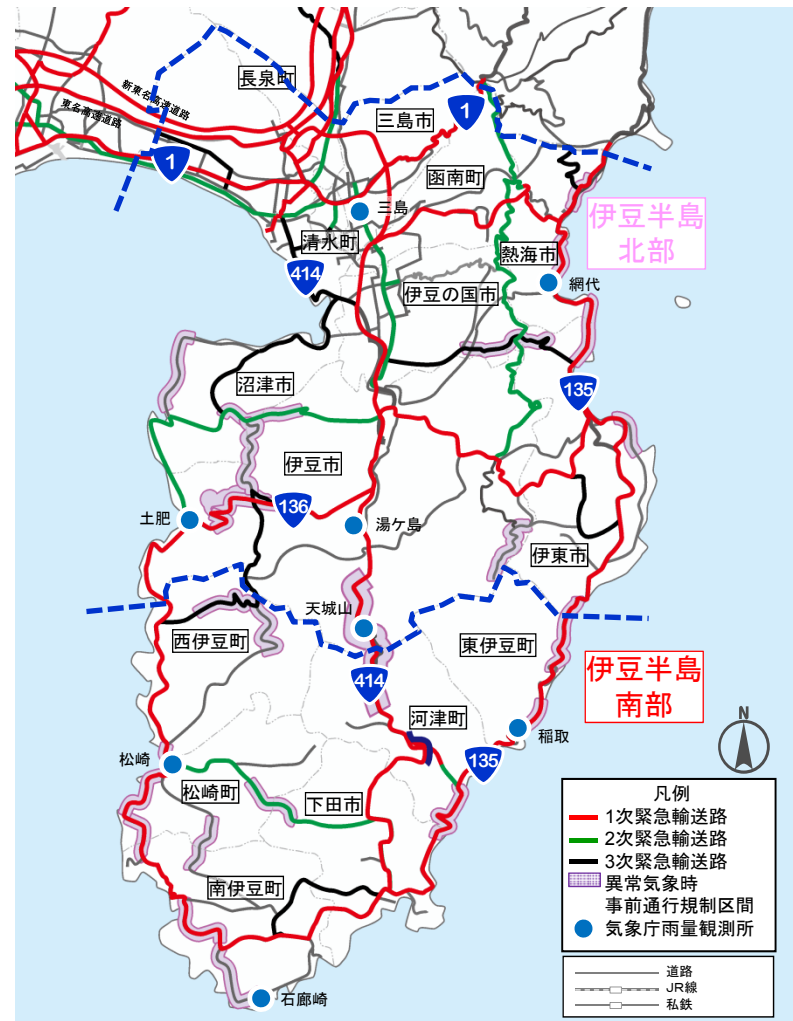


■雨量による通行規制の実績(伊豆半島全体)



出典:H22~H26 静岡県資料

■伊豆半島の通行規制区間



出典:静岡県資料

(4)自然災害 2)地震・津波

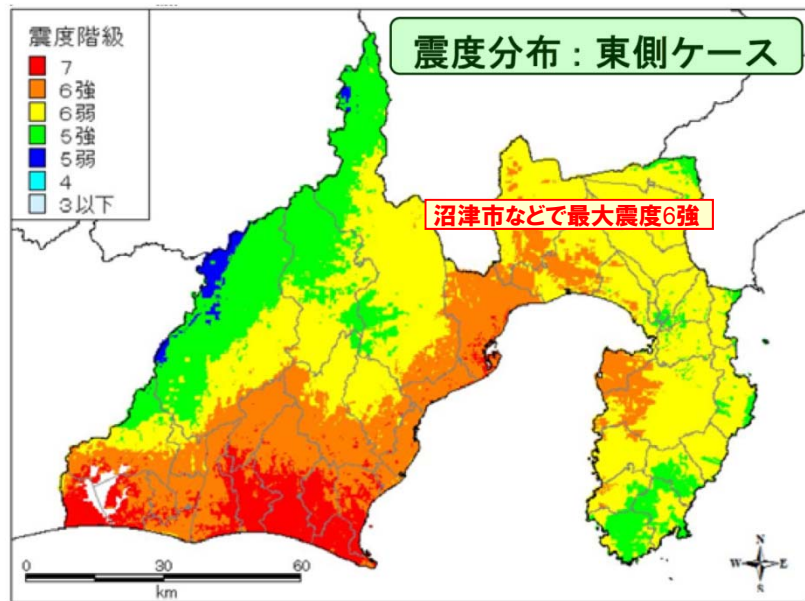
1. 地域課題

- 高確率で発生が予想されている南海トラフ巨大地震等における最大震度は6強
- 南海トラフ巨大地震発生時の伊豆半島における推定最大津波高さは5~33mで、沿岸部の緊急輸送道路で津波・浸水箇所が多く想定され孤立の恐れあり

■ 30年以内の地震発生確率

南海トラフ巨大地震	
東海地震	88%
東南海地震	70%
南海地震	60%
相模トラフ地震	70%

出典: 文部科学省地震調査研究推進本部 (H24.1)



出典: H25.6 静岡県第4次地震被害想定(第一次報告)

■ 緊急輸送道路の被害想定 (南海トラフ巨大地震時)



出典: 内閣府南海トラフ巨大地震の被害想定(第二次報告)(H25.3)より作成

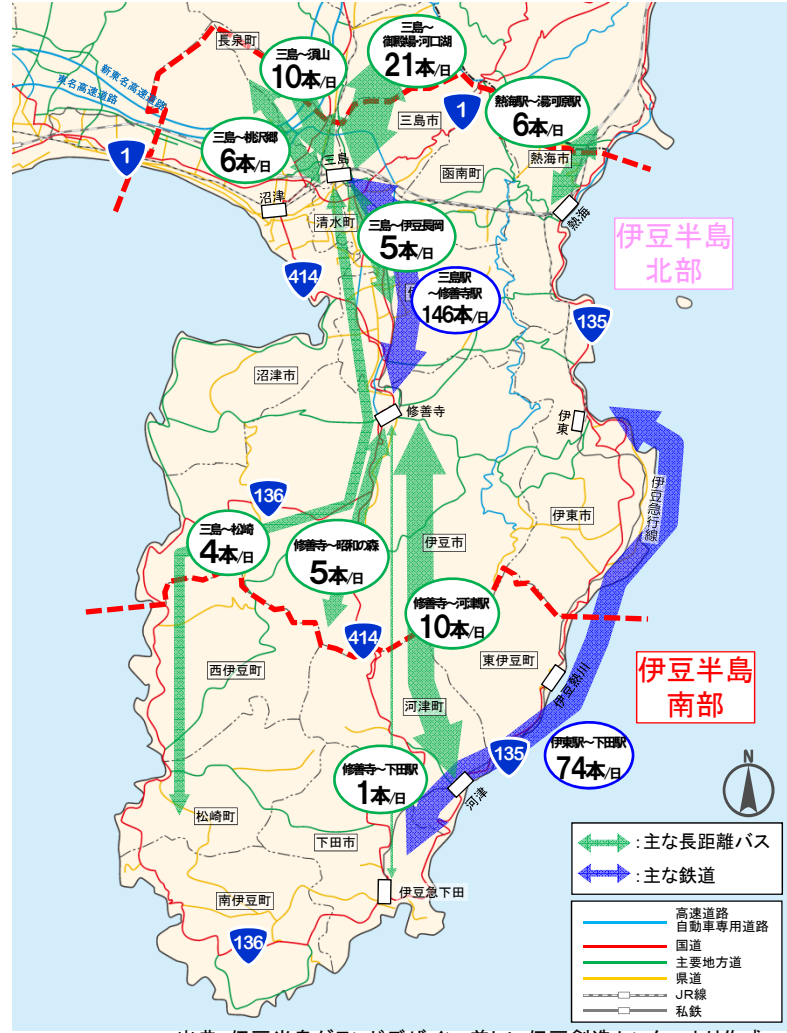
2. 交通課題

(1)公共交通

2. 交通課題

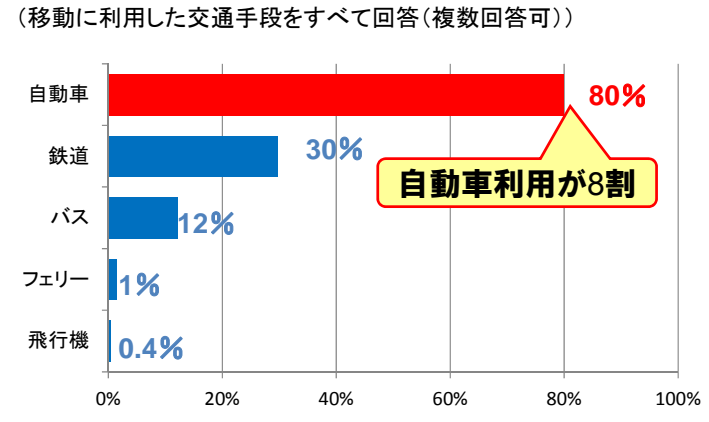
- 伊豆半島の公共交通は、鉄道網や長距離バス網が限定的。観光での移動手段の約8割は自動車利用
- 旅行中の移動に対する不満は、県内の他地域に比べ高い

■伊豆半島内の主な公共交通網



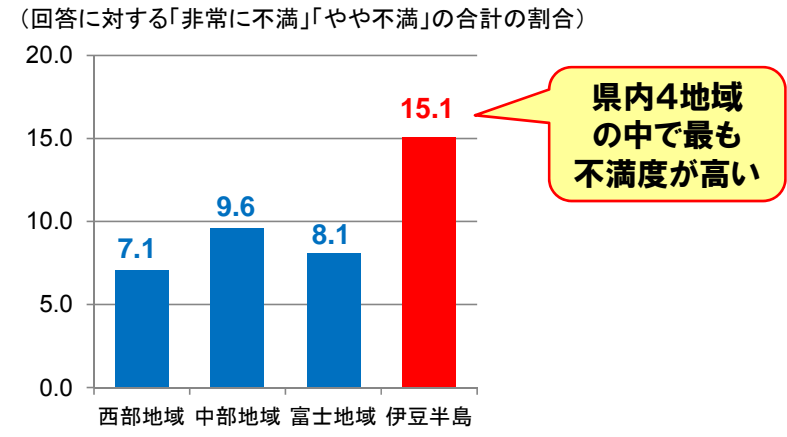
出典:伊豆半島グランドデザイン 美しい伊豆創造センターより作成

■伊豆半島への利用交通手段



出典:静岡県における観光の流動実態と満足度調査(H25.3)

■旅行中の移動に対する不満度



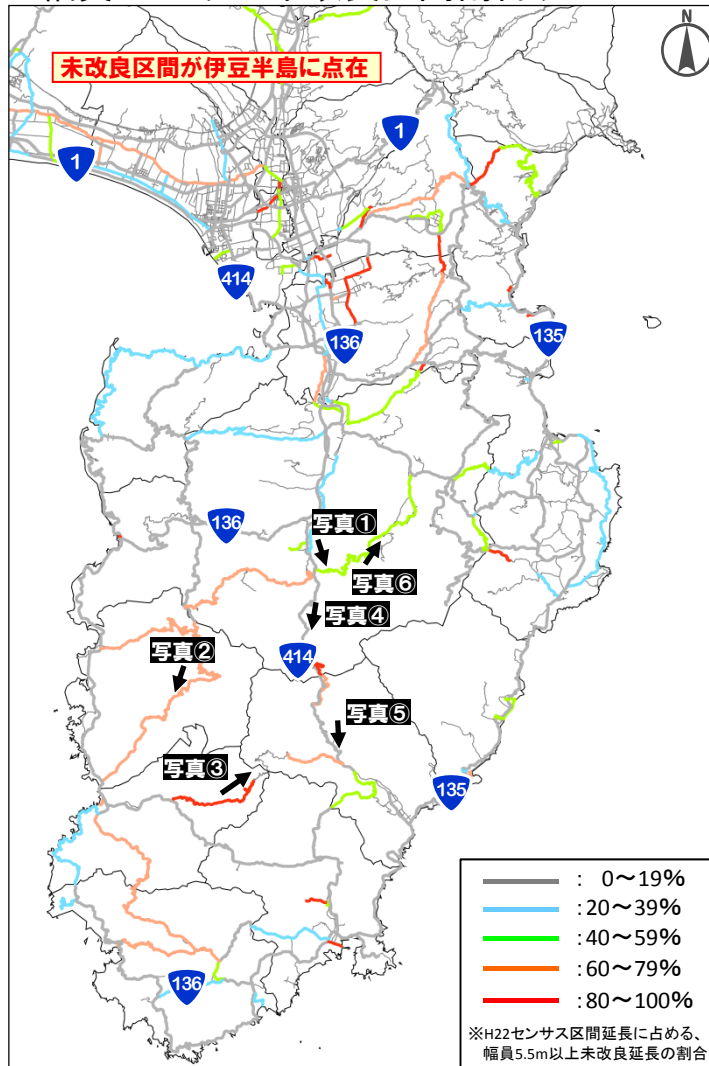
出典:静岡県における観光の流動実態と満足度調査(H25.3)

(2)道路構造 1)未改良区間

2. 交通課題

●幅員狭隘、平面および縦断線形不良等の未改良区間が伊豆半島内の各所に存在

■幅員5.5m以上未改良区間割合 (H22センサス)



出典: H22道路交通センサス



写真① (国)414号 (路肩幅員狭隘箇所)
路肩幅員狭隘箇所を走行する大型車



写真④ (国)414号 (縦断線形不良箇所)
縦断勾配 (i=9%以上)



写真② (主)伊東西伊豆線
(平面線形不良、車道部幅員狭隘箇所)
見通しが悪くすれ違いが困難な区間



写真⑤ (国)414号 (平面線形不良箇所)
高低差45mを二重の螺旋カーブで結ぶ
河津七滝ループ橋 (R=40m)



写真③ (一)湯ヶ野松崎線 (通行不能区間)
車道部幅員狭隘により車両が通行できない区間



写真⑥ (主)伊東西伊豆線
(車道部幅員狭隘箇所)
すれ違いが困難な区間

(2)道路構造 2)車道幅員、縦断勾配・平面線形

2. 交通課題

- 車道全幅5.5m未満の車道幅員狭小区間が点在
- 縦断勾配8%以上、平面線形R=30m以下の道路線形不良区間が点在

■車道幅員狭小区間を有する路線



■道路線形不良区間を有する路線

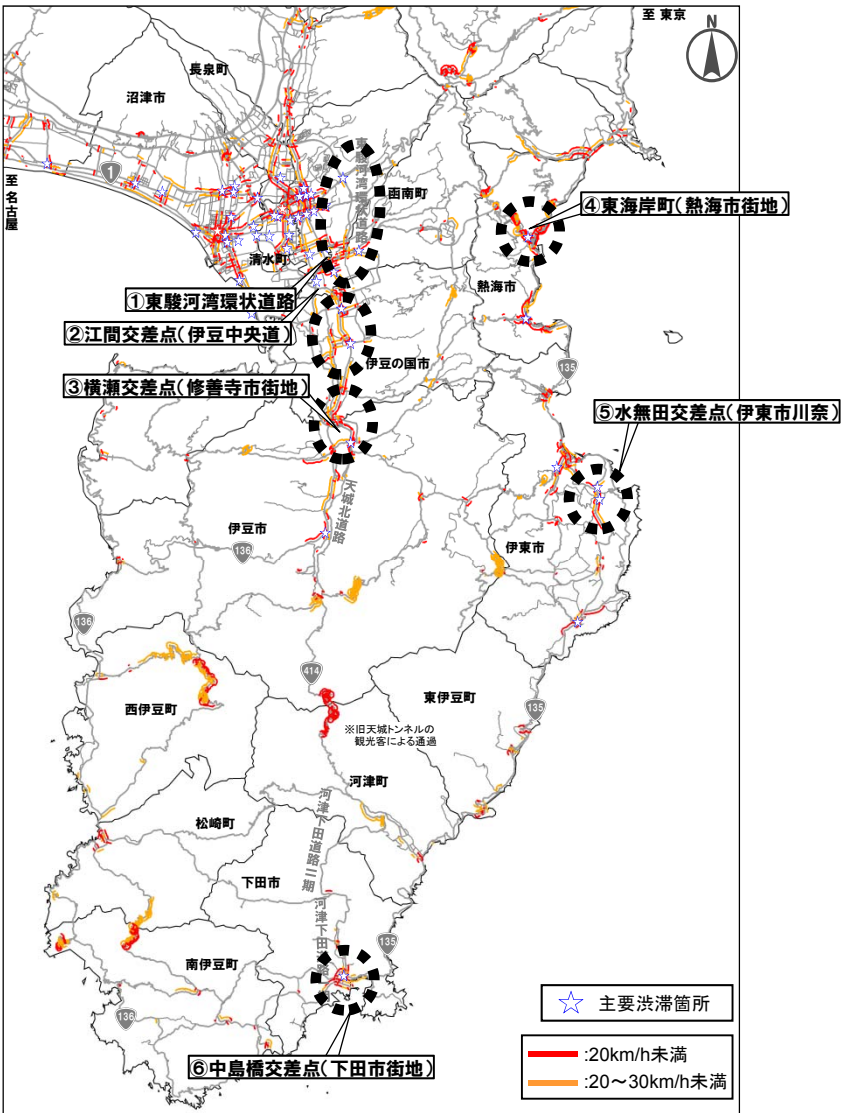


(3) 道路交通状況 1) 渋滞

2. 交通課題

● 伊豆地域は観光期の交通集中により、沼津・三島から下田間及び熱海から下田間の主要な路線において、著しい渋滞が発生

■ 当該地域の渋滞状況(休日)



出典: 民間プローブデータ 平成26年8月休日平均(7~19時 12時間平均)

① 東駿河湾環状道路
大場・函南IC付近 (三島方面)



② 江間交差点(伊豆中央道)
伊豆中央道 (大仁方面)



③ 横瀬交差点(修善寺市街地)
県道伊東修善寺線 (横瀬交差点方面)



④ 東海岸町交差点(熱海市街地)
熱海ビーチライン (東海岸町交差点方面)



⑤ 水無田交差点(伊東市川奈)
国道135号 (水無交差点付近)



⑥ 中島橋交差点(下田市街地)
国道414号 (中島橋交差点方面)

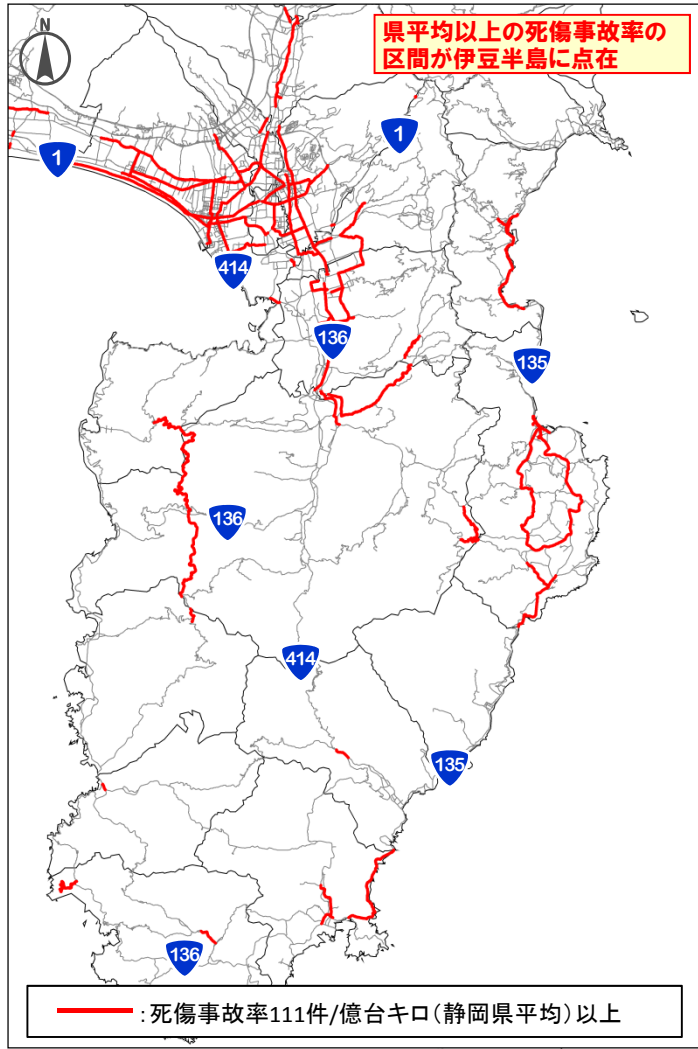


(3) 道路交通状況 2) 死傷事故

2. 交通課題

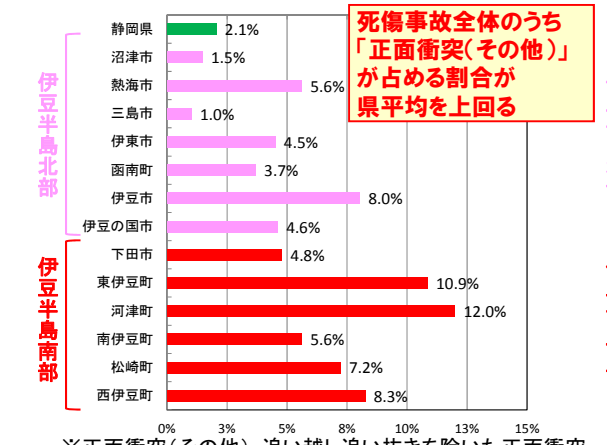
- 県平均死傷事故率以上の区間が伊豆半島内の各所に存在
- 特に、正面衝突やすれ違い時が県平均を上回る事故発生
- また、観光目的に走行している時の事故が県平均を上回る事故発生

■ 死傷事故率(県平均以上区間)



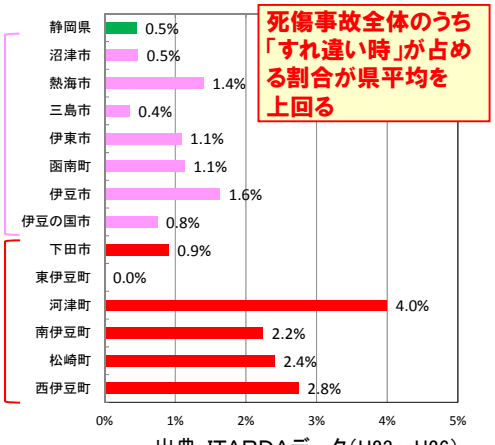
出典:ITARDAデータ(H23~H26)

■ 死傷事故のうち 正面衝突(その他)*が占める割合



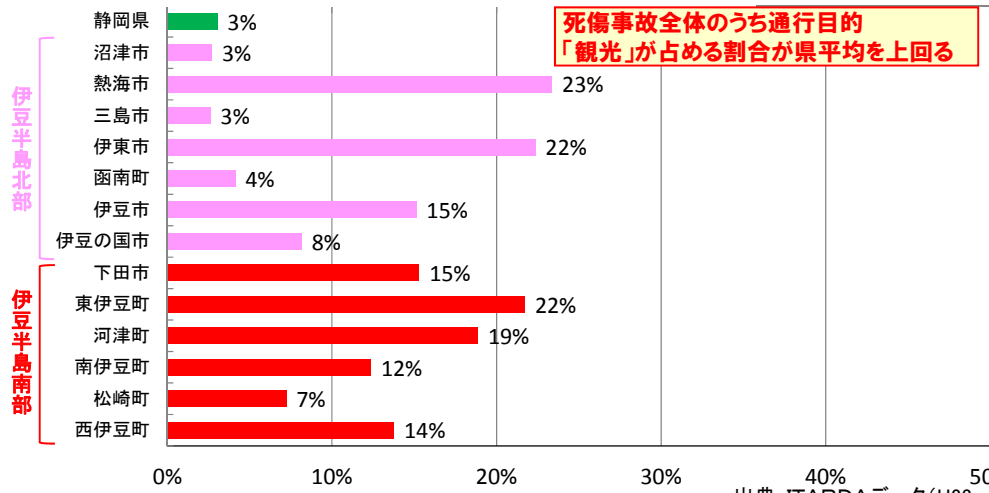
*正面衝突(その他): 追い越し追い抜きを除いた正面衝突

■ 死傷事故のうち すれ違い時が占める割合



出典:ITARDAデータ(H23~H26)

■ 死傷事故のうち、通行目的が「観光」の割合



出典:ITARDAデータ(H23~H26)

(4)大規模災害

2. 交通課題

- 伊豆半島内で大雨や崩土、倒木による通行止めが、年平均で約110日発生※
 - 南北軸の道路啓開の路線として伊豆縦貫自動車道があげられているが、一部事業中の区間が存在
- ※通行止め実績(時間)を1日24時間として換算

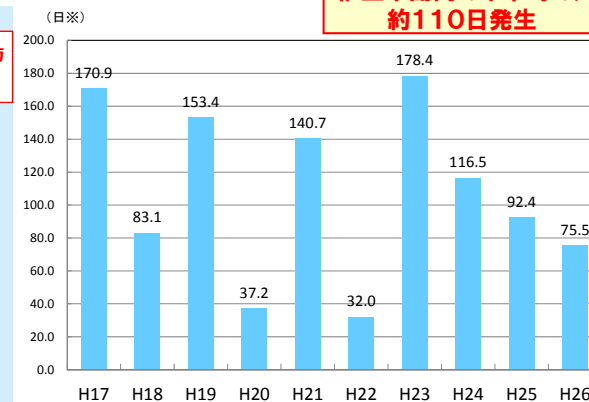
■伊豆半島の通行規制区間



出典：静岡県資料



■通行止め実績



出典：静岡県資料(沼津土木事務所、熱海土木事務所、下田土木事務所管内を対象に集計)

■伊豆半島内の道路啓開作業



出典：伊豆半島における道路啓開基本方針(H25.3)を基に作成

(5) 自転車走行空間整備

- 2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機に、静岡県では、国内外の憧れを呼ぶ聖地“ふじのくに”の実現に向け、静岡県サイクルスポーツ協議会を設立する等の取組を開始
- 道路上では、安全で快適なサイクリング走行環境の整備が必要



伊豆地域のサイクリングコースのイメージ



サイクルスポーツセンター (伊豆ペロドローム)



伊豆半島一周サイクリングイベントの状況
出典: 伊豆市役所ホームページより



しまなみ海道(愛媛県)での整備状況

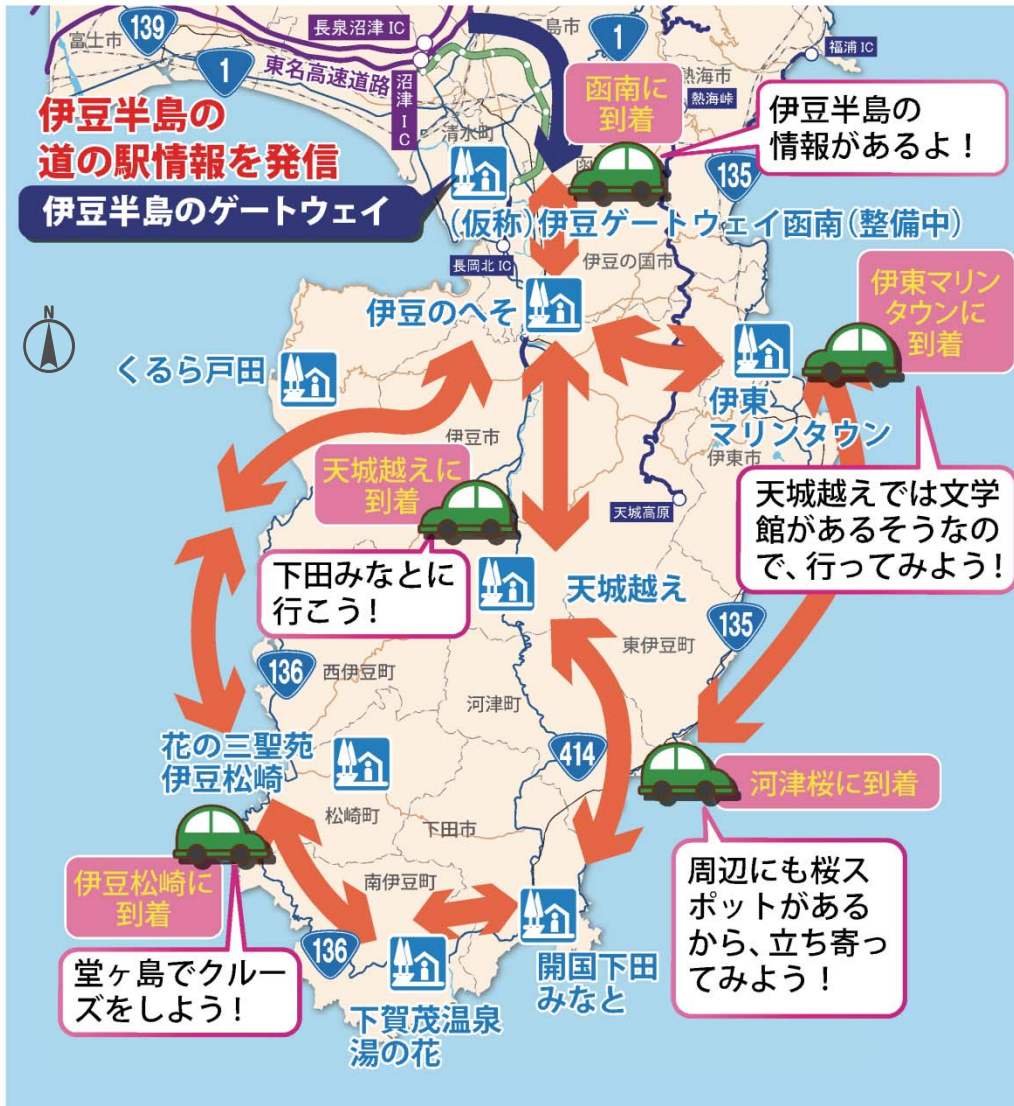


自転車走行空間の整備例(市街地部)
出典: 安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン (平成28年7月)より

3. 參考資料

(1)道の駅ネットワークを活用した地域内周遊観光の促進 3. 参考資料

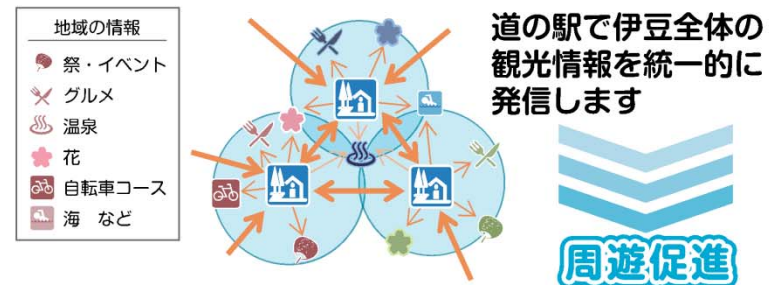
- 伊豆道の駅ネットワーク協議会の設立 ⇒重点「道の駅」に選定され実施計画書を作成
- スタンプラリーを開催し伊豆地域の周遊促進やインバウンド対応への案内機能強化
- 道路整備により更なる周遊促進に期待



一体的な情報PR



伊豆半島の周遊を促進



連携による外国人対応



(2)ストック効果事例①～伊豆の金目鯛がグッと近く感じます！

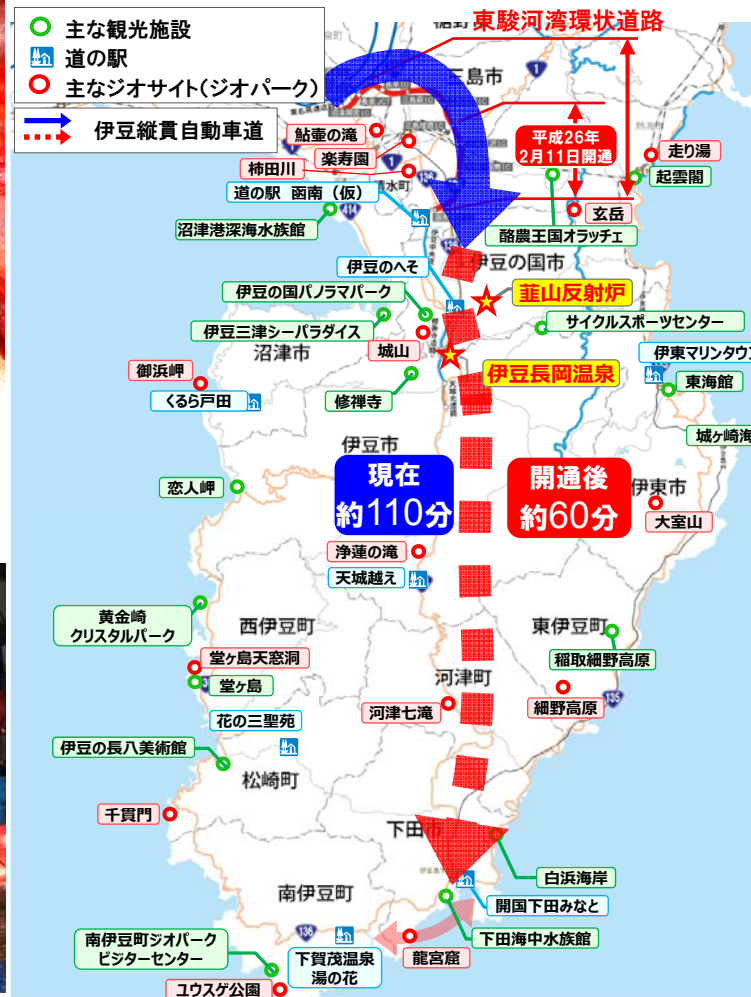
3. 参考資料

●伊豆縦貫自動車道(東駿河湾環状道路)の開通によりアクセス向上
世界基準の観光資源を有する伊豆半島

伊豆縦貫自動車道の全線開通により更なるストック効果が！

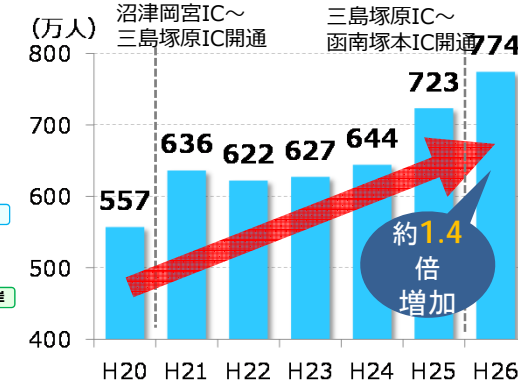


下田の須崎港で水揚げされるブランド化された高級魚「須崎キンメ」



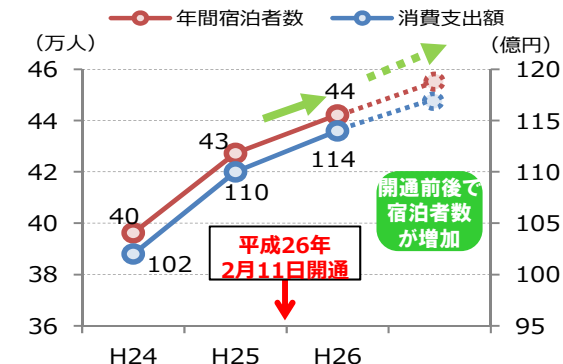
伊豆半島ジオパーク 世界ジオパーク認定 (に向けて取組みを推進中)

■三島市、函南町、伊豆の国市の観光レクリエーション客数 (H20年度-H26年度)



出典：静岡県観光レクリエーション客数 (H20.4-H27.3)

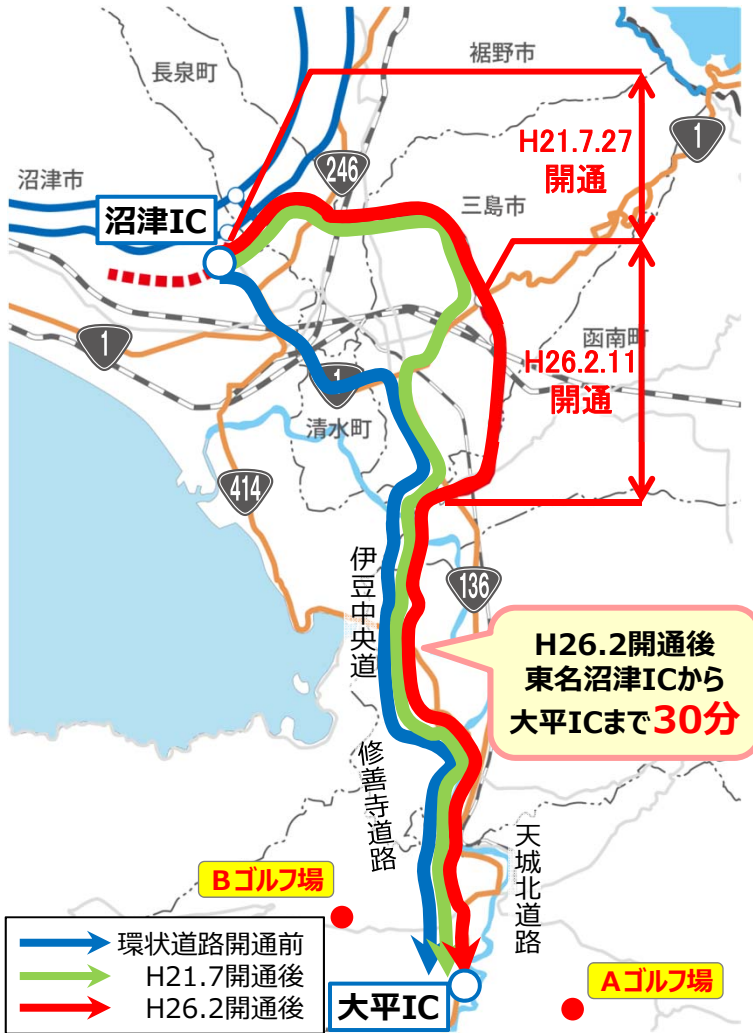
■伊豆長岡温泉の宿泊者数



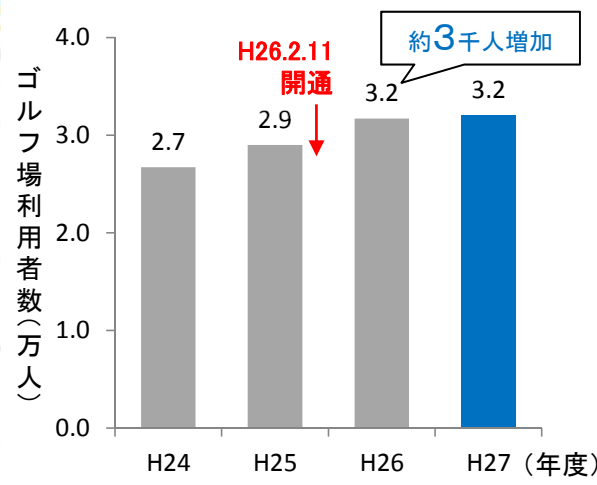
出典：伊豆長岡温泉提供データ

(3)ストック効果事例②～ゴルフ場利用客数の増加～

- 伊豆市修善寺のゴルフ場では、東駿河湾環状道路の開通を機に東名、新東名からゴルフ場までの時間短縮をアピール
- 新たに早朝プランを発売した結果、神奈川、東京、埼玉等の遠方から利用客が約3千人増加
- 開通後の利用客増加を見込み、クラブハウス改修やゴルフカート増加等の設備投資を実施



■修善寺のAゴルフ場の利用客数の推移



- 東駿河湾環状道路による利用客増加については開通前から期待しており、開通後は東名や新東名から当ゴルフ場への時間短縮効果をアピールしました。
- 新たに早朝プランを発売したところ、主に神奈川、東京、埼玉等からの利用客が増加しました。 出典：Aゴルフ場ヒアリング



- 当ゴルフ場は、主に沼津、三島等のリピーターが多いですが、東駿河湾環状道路の開通後は、神奈川県等の県外からの利用客が増加しています。
- 開通後の利用客増加を想定して、新たにゴルフカートを増加したり、クラブハウスの改修を行いました。
- 開通に伴い、特別価格での正会員募集もはじめました。 出典：Bゴルフ場ヒアリング

(4)ストック効果事例③～江間交差点の改良に期待！～

3. 参考資料

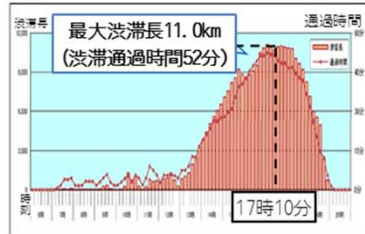
●国道136号 江間(立体化)

～東名・新東名から伊豆市までの間で、唯一残る平面交差点を立体化～

江間交差点の立体化で、週末・観光シーズンの渋滞が解消！⇒伊豆の国市への来訪時間短縮！ 定時性も確保！



≪ 江間交差点の渋滞状況 ≫



効果 1 「新しいひとの流れをつくる」
伊豆の国市の地方創生に寄与！



伊豆の国市役所
担当者の声

伊豆の国市では、世界遺産に登録された富士反射炉、伊豆長岡温泉等の豊富な観光資源と、自然・食などの地域資源を運動させながら、観光交流人口の増加を目指しています。江間交差点の立体化により、人の流れが円滑になり多様な交流がより一層拡大していくことで観光人口や定住人口の増加につながります。また、交通アクセスの向上に伴い企業誘致を行うことで新たな雇用が創出されると期待されます。

効果 2 富士反射炉を中心とした
新たな観光ルートの創出が期待！



伊豆の国市観光協会事務局長の声

世界遺産を含めた新たな観光ルートを検討しています。江間交差点の立体化により、市内の滞在時間が増加し、新たな観光ルートが創設されることが期待されます。

効果 3 伊豆長岡温泉の
宿泊客数の更なる増加が期待！



伊豆長岡温泉旅館協同組合長の声

伊豆長岡温泉旅館共同組合提供資料



高規格幹線道路の開通により客圏が拡大しています。特に埼玉・群馬など北関東からの観光客が増え、江間交差点の立体化により、宿泊客数の更なる増加が期待されます。

効果 4 JA農産物直売所の
売り上げの更なる増加が期待!!



JA伊豆の国担当者の声

JA伊豆の国提供資料



道路整備の効果と相まって、直売所の年間売り上げが年々増加しています。江間交差点の立体化により、更なる増加が期待されます。



≪江川邸宅≫
反射炉を造った江川家の代官屋敷です。築850年の歴史ある建物であり、国指定重要文化財です。

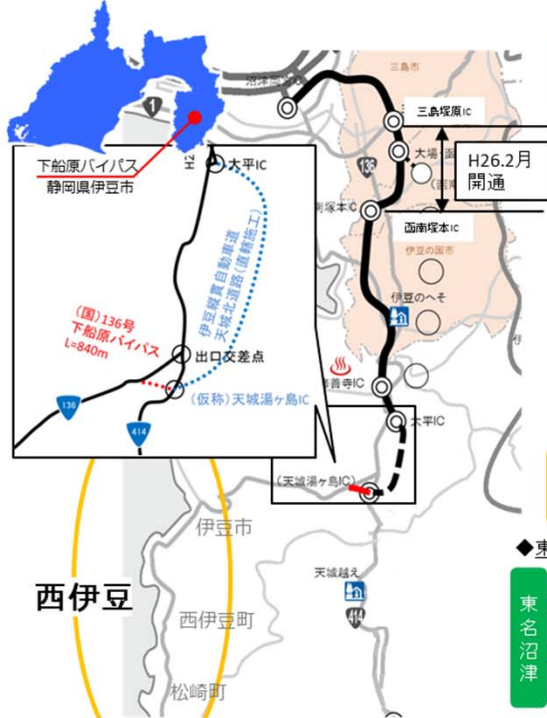


≪城山≫
伊豆半島ジオパークの一部です。冷え固まったマグマによる急峻な山で、特異な岩山の風景が目を引きま。



(5)ストック効果事例④～西伊豆ブランド“スルメイガ”漁も朗報！～

●国道136号 下船原バイパス ～慢性的な渋滞箇所の解消を目的としたバイパスの整備～



【現状】
出口交差点で週末や観光シーズンに慢性的な渋滞が発生



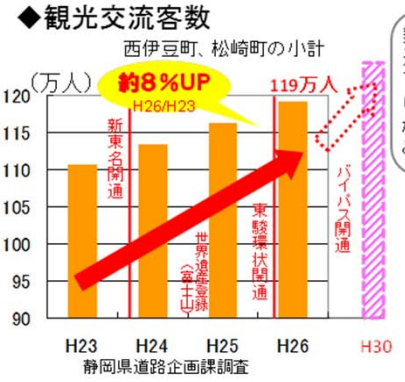
下船原バイパスが開通すれば・・・

<効果1> 伊豆縦貫自動車道の整備と合わせ、所要時間が短縮し、渋滞の解消により、定時性を確保！



西伊豆町発！昼獲れのスルメイカ

<効果2>
西伊豆の観光交流客数の更なる増加に期待！



鉄道がない西伊豆では、道路網の充実が命。下船原バイパスの開通により、観光客の周遊性が高まり、来客が増えることを期待



西伊豆町 店舗経営者の声

<効果3> 西伊豆ブランド スルメイカの鮮度の向上、漁獲量の増加に期待！

沖合いでの操業を30分延長できると・・・

沖合での操業時間が30分延長できると、最盛期には、漁獲量にして、一日あたり約1トンの増加も期待されます。

走りやすい道路は、揺れが少ないため傷みにくく、また定時性が確保されることにより、より鮮度のいいスルメイカを築地に提供できます。



伊豆漁業協同組合 西伊豆統括支所担当者の声

年間取引額(売上高)にして、
約2割の増加も期待されます！
(一日あたり、約0.5トンの漁獲量が増加すると仮定して、年間漁獲量に換算 静岡県試算)



なまこ壁(松崎町)